

安心して

受診していただくために。

市民病院の新型コロナウイルス対策

来院者への検温実施

病院の出入口にサーモグラフィカメラを設置し、来院者の体温をチェックしています。画面に体温が表示され、37.5℃以上のときはアラームで知らせます。発熱のある人は、感染対策をした職員の案内のもと、特設の待合に移動していただき、他の来院者との接触を防ぎます。



手術前検査の実施

全身麻酔を伴う手術を受ける患者さんに抗原検査を実施し、院内感染の防止に取り組んでいます。当院では操作が簡便で検査時間も短い抗原検査を採用しています。



唾液から検体を採取



粘膜から検体を採取

面会の制限

現在、入院患者さんへの面会は原則禁止とし、特別に病院が許可した場合でも、1人の患者さんに対し1人に限らせていただいています。不便をおかけしますが感染防止のために理解と協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症が世間を騒がすようになつてから10か月がたち、さらにインフルエンザが流行し始めるシーズンを迎えました。市民病院では、院内での感染防止に向けて、医師をはじめとした多職種が知識と力を合わせて取り組んでいます。今回は、市民病院の取り組みについて紹介します。

問い合わせ 市民病院管理課(☎5710052)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため

面会禁止

患者・病院職員以外の病棟への出入を禁じます。

【面会資格証】をお持ちの方のみ
特別な事情があれば面会できます。

※面会の手続きは、**感染センター(待合外出入口)**で行います。

●特別面会許可した方も
1人の患者さんにつき原則 **1人のみ**

●面会時間は
平日・休日とも **15:00~18:00**

皆様のご協力をお願いいたします。 院長

Interview



呼吸器内科
部長 岩田晋

インフルエンザの流行シーズンとなりました。高熱で苦しむことの多いこの疾患は、新型コロナウイルス感染症の症状と区別することが困難です。今年はインフルエンザウイルスへの対策も例年以上に重要となります。新型コロナウイルスに限らず、感染のリスクを減らすためにも、これまでに以上に手洗い、うがい、マスク着用などに留意していただきたいと思います。発熱症状があるときは、まずはかかりつけ医に相談してください。